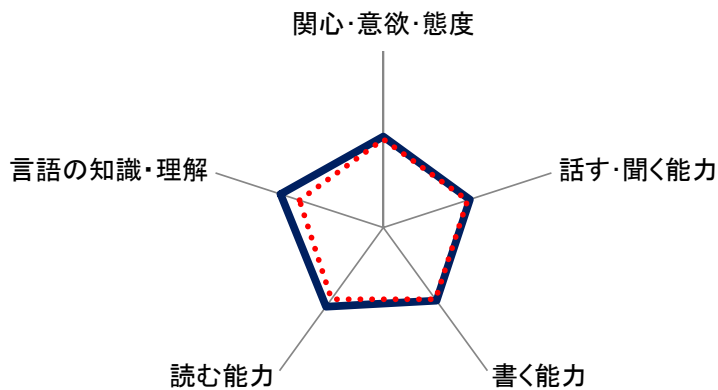


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

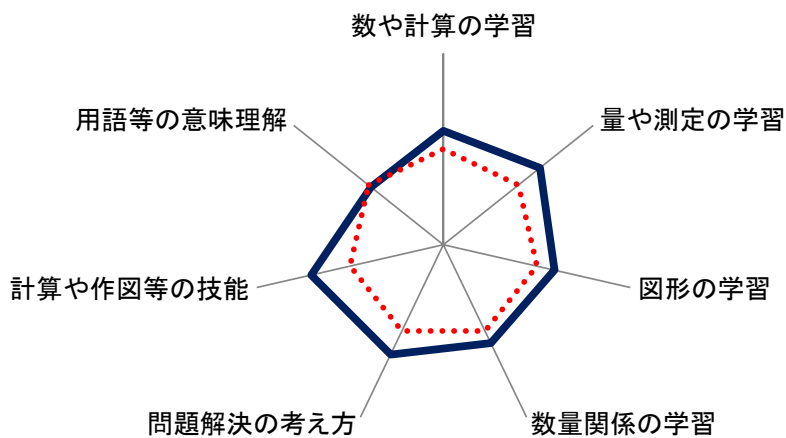
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

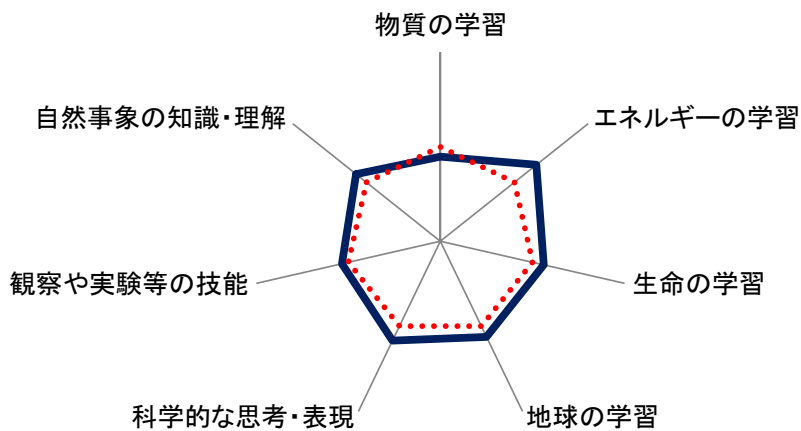
— 市平均
..... 全国平均



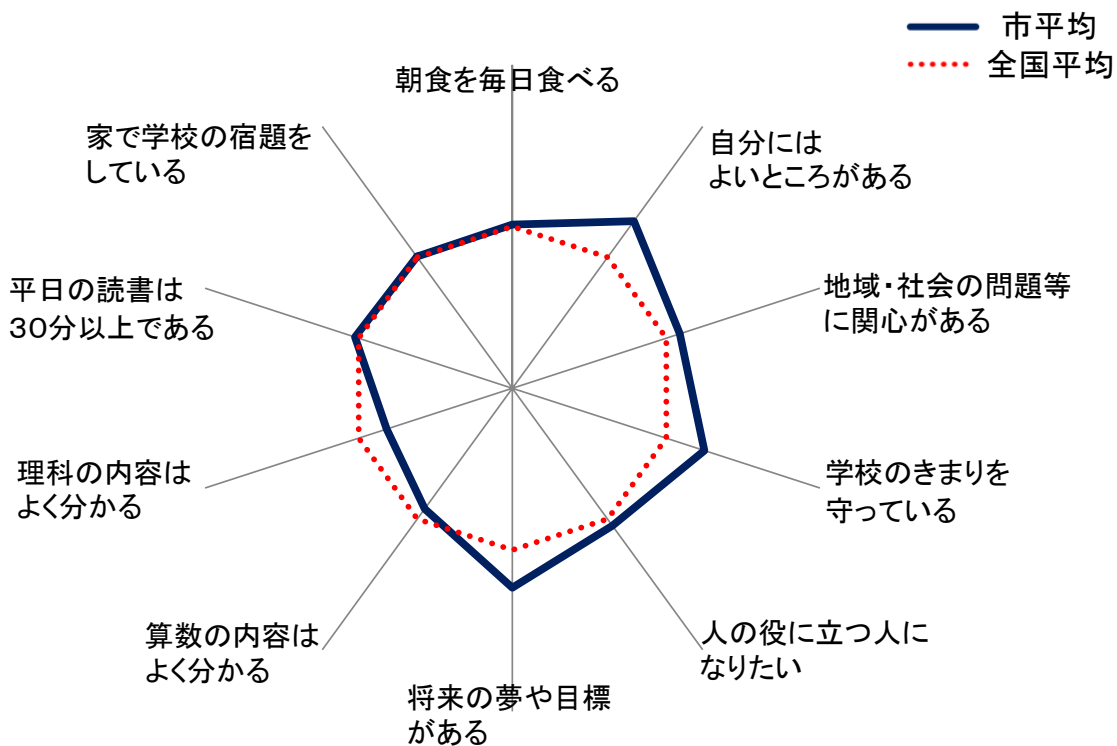
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、算数、理科ともに7項目中6項目が全国平均を上回っている。特に国語は「言語の知識・理解」、算数は「計算や作図等の技能」や「問題解決の考え方」、理科は「エネルギーの学習」の各項目が全国平均を大きく上回っており、結果は良好である。今後、更なる学力の向上と定着に向けて、各教科において知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均とほぼ同じか上回っている。良好な学力の結果にも関わらず、「算数、理科の内容はよく分かる」の項目が全国平均を下回っている。「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標がある」など自尊感情に関する項目が良好であることから、そのよさを生かし、授業理解に関する自信のなさとの関係を詳細に分析することにより、「楽しい授業、分かる授業、伸びる授業」が実践されるよう授業改善を図るなどの対策が望まれる。